

## 長野県スポーツ推進計画の進捗状況と業績評価指標の設定 (R2)

## 基本目標 1 子どもの運動・スポーツ機会の充実

## 1 達成目標(KGI)

指標名	単位	基準値 (H29年度)	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		目標値 (R4年度)	
			目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値		
体力合計点	点	50.4	50.8	51.0	51.1		51.4		51.7		52点	
運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合(中学生女子)	%	78.7	79.2	78.9	79.4		79.6		79.8		80%	
体育授業以外の1週間の運動実施時間が60分未満の子どもの割合	小学生男子	%	7.9	7.6	8.0	7.2		6.8		6.4		6%以下
	小学生女子	%	16.4	15.2	16.3	13.9		12.6		11.3		10%以下
	中学生男子	%	7.3	7.2	6.9	6.9		6.6		6.3		6%以下
	中学生女子	%	23.6	22.8	22.6	22.1		21.4		20.7		20%以下

## 2 令和元年度業績評価(KPI)

指標名	説明	R1年度 目標値	R1年度 中間値
運動部活動加入率	県内の公立中学校、県立高等学校において、運動部活動に加入している生徒の割合	中学:60% 高校:52%	中学:57.4% (H30実績) 高校:50.8% (R1.10)
地域スポーツクラブ加入率	地域のスポーツクラブに加入している公立中学校の生徒の割合	中学:9.5%	中学:8.7% (H30実績)
長野県版運動プログラム実施市町村数	子どもの運動習慣づくりを通して、体力・運動能力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力等社会性の発達を促し、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送る基盤を培うことを目的に作成された幼児期から中学生期までの成長段階に応じた長野県オリジナルの運動プログラムで、当プログラムの講習会を実施した市町村(24年度からの累計)	30市町村	30市町村 (R1.10)
総合型地域スポーツクラブによる長野県版運動プログラム実施数	総合型地域スポーツクラブの指導者が講師となって長野県版運動プログラムを幼稚園・保育園、小学校等において指導を行う	5例	4例 (R1.10)
キッズ運動遊びどこでもゼミナール実施市町村数	子ども(幼児、小学校低学年)、保育士、幼稚園及び小学校の教員、地域の指導者、保護者等を対象に、長野県版運動プログラムの「小学校低学年向けプログラム」を普及する実技講習会で、当講習会を実施した市町村	5市町村	6市町村 (R1.10)
長野県版運動プログラム普及講座(体育センター)受講者数	保育士、幼稚園及び小学校の教員、地域の指導者、保護者等を対象に、長野県版運動プログラムの普及及び指導者養成を目指して行う講座	200人	209人 (R1.10)
一校一運動実施率	県内の公立小・中・高・特別支援学校において、児童生徒の体力向上に向けて、学校ごとテーマ(マラソン、縄跳び等)を設け、学校一丸となって年間を通して取り組む運動	100%	100% (R1.10)
ながのスポーツスタジアム参加数	集団縄跳びやボールパスなど6種目にわたり、小・中学生がクラス単位で取り組み、ホームページ上で記録を競い合う	小学校:150校 中学校:50校	小学校:45校 中学校:29校 (R1.10)
信州型コミュニティスクールを活用した授業実施数	「学校運営参画」「学校支援」「学校評価」の機能を一体的・持続的に学校と地域が協働活動を行う学校支援のしくみにより、地域の指導者が体育(保健体育)の授業や授業支援を行う	小学校:120校 中学校:30校	小学校:123校 中学校:15校 (R1.10)
競技観戦を実施した授業数	県内で開催されるトップレベルの競技会観戦を授業の一環として実施(全中スケート観戦)	10校	12校 (H30実績)

学校体育指導者研修(体育センター)受講者数	体育センターが企画する学校体育・スポーツに係る指導者研修講座	1,000人	1,027人 (R1.10)
学校体育実技(武道)講習会受講者数	安全指導を含めた武道の指導法に係る指導者研修講座	30人	24人(柔道18、剣道6) (R1.10)
運動部活動指導者等研修受講者数	安全・安心なスポーツ活動を保障するための指導者の資質向上を目的とした研修会	100人	台風のため中止 (R1.10)
部活動指導力向上研修(体育センター)受講者数	体罰根絶やセクハラ防止を含めた運動部活動の指導者を対象とした講習会	120人	30人 (R1.10)
部活動指導員導入学校数	部活動の質的な向上と教員の働き方改革を目的に、中学校、高等学校において、部活動の指導、大会等への引率等を行うことを職務とすることが制度化された部活動指導員の学校への任用	90校	81校 (R1.10)
地域との連携による部活動実施市町村数	総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等地域のスポーツ団体との連携による部活動の実施	30市町村	今後調査
障がい者スポーツ指導員の数	障がい者スポーツを指導する有資格者数	486人	456人 (R1.7)
体験会や交流会等を実施する市町村の数	障がい者スポーツの体験会や障がい者とのスポーツ交流等の企画実施	77市町村	77市町村
総合型地域スポーツクラブによる「ゆるスポ活動」実施数	競技志向に偏らず、特に運動部活動に所属していない生徒や文化部に所属する生徒の運動機会を確保することをねらい、総合型地域スポーツクラブ等の指導者により、誰もが気軽に楽しめる活動を保障する	5例	今後調査

### 3 令和2年度の業績評価指標(KPI)の設定(案)

指標名	説明	基準値 (H29年度)	R1年度 中間値	R2年度 目標値
運動部活動加入率	県内の公立中学校、県立高等学校において、運動部活動に加入している生徒の割合	中学:58.5% 高校:50.9%	中学:57.4% (H30実績) 高校:50.8% (R1.10)	中学:60% 高校:52%
地域スポーツクラブ加入率	地域のスポーツクラブに加入している公立中学校の生徒の割合	中学:8.8%	中学:8.7% (R1.10)	中学:9.5%
長野県版運動プログラム実施市町村数	平成24年度から長野県版運動プログラムの講習会を実施した市町村数(累計)	22市町村 (体育センター 出前講座含む)	30市町村 (R1.10)	35市町村
総合型地域スポーツクラブによる長野県版運動プログラム実施数	総合型地域スポーツクラブの指導者が講師となって長野県版運動プログラムを幼稚園・保育園、小学校等において指導を行う	-	66回 (R1.10)	80回
長野県版運動プログラム普及講座(体育センター)受講者数	保育士、幼稚園及び小学校の教員、地域の指導者、保護者等を対象に、長野県版運動プログラムの普及及び指導者養成を目指して行う講座	182人 (6回)	209人 (R1.10)	220人
一校一運動実施率	県内の公立小・中・高・特別支援学校において、児童生徒の体力向上に向けて、学校ごとテーマ(マラソン、縄跳び等)を設け、学校一丸となって年間を通して取り組む運動	100%	100% (R1.10)	100%
ながのスポーツスタジアム参加数	集団縄跳びやボールパスなど6種目にわたり、小・中学生がクラス単位で取り組み、ホームページ上で記録を競い合う	小学校:129校 中学校: 36校	小学校:45校 中学校:29校 (R1.10)	小学校:150校 中学校: 50校
地域のスポーツ関係者の学校への関わり	スポーツ推進委員や総合型クラブ関係者が、信州型コミュニティスクールの学校運営委員として位置づいている小・中学校数	-	小学校:92校 中学校:59校 (R1.10)	小学校:180校 中学校: 93校
	スポーツ推進委員や総合型クラブ関係者が、部活動に係るスポーツ活動運営委員として位置づいている中学校数	-	-	中学校:130校
競技観戦やスポーツボランティアを行った学校数	県内で開催されるトップレベルの競技会観戦を行った学校数	8校 (全中スケート観戦)	12校 (H30実績)	30校

新	トップレベルの競技者との交流学習	オリンピック・パラリンピアンや国内トップレベルの競技経験者との交流・体験学習を実施した学校数	-	-	50校
	学校体育指導者研修(体育センター)受講者数	体育センターが企画する学校体育・スポーツに係る指導者研修講座	944人 (35講座)	1,027人 (R1.10)	1,200人
改	学校体育実技(武道)講習会受講者数	安全指導を含めた武道の指導法に係る指導者研修講座(多様な武道学習の促進)	35人 (柔道11 剣道24)	24人 (柔道18 剣道6) (R1.10)	40人
	運動部活動指導者等研修受講者数	安全・安心なスポーツ活動を保障するための指導者の資質向上を目的とした研修会	82人	台風のため中止 (R1.10)	100人
	部活動指導力向上研修(体育センター)受講者数	体罰根絶やセクハラ防止を含めた運動部活動の指導者を対象とした講習会	112人	30人 (R1.10)	80人
	部活動指導員導入学校数	部活動の質的な向上と教員の働き方改革を目的に、中学校、高等学校において、部活動の指導、大会等への引率等を行うことを職務とすることが制度化された部活動指導員の学校への任用	-	81校 (R1.10)	100校
改	地域との連携による部活動実施市町村数	総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等地域のスポーツ団体、社会人・プロスポーツ等との連携による部活動の実施	-	今後調査	30市町村
新	地域を拠点としたスポーツ環境づくりを推進している市町村数	部活動とは別に競技団体や総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等とが連携を図り、スポーツ環境づくりを進めている市町村	-	-	10市町村
改	総合型地域スポーツクラブによる「ゆるスポ活動」実施数	ゆるスポ活動支援事業の活用事例数	-	1例 (H30実績)	5例
	障がい者スポーツ指導員の数	障がい者スポーツを指導する有資格者数	429人	456人 (R1.7)	486人
	体験会や交流会等を実施する市町村の数	障がい者スポーツの体験会や障がい者とのスポーツ交流等の企画実施	12市町村	50市町村 (R1.11)	30市町村

## 基本目標 2 生涯を通じたスポーツ機会の充実

### 1 達成目標(KGI)

指標名	単位	基準値 (H29年度)	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		目標値 (R4年度)
			目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	
運動・スポーツ実施率 (成人の週1回以上)	%	48.1	52.4	56.3	55.6		58.1		61.9		65.0
直接スポーツ観戦率	%	13.0	13.7	11.7	14.0		14.4		14.7		15.0
スポーツボランティア参加率	%	8.2	8.4	5.2	8.8		9.2		9.6		10.0
地域スポーツクラブ加入率	%	9.9	11.0	10.1	12.0		13.0		14.0		15.0
障がいのある人が参加する プログラムを行っている総合 型地域スポーツクラブの割合	%	13.2	20.0	20.9	27.5		35.0		42.5		50.0

### 2 令和元年度の業績評価(KPI)

指標名	説明	R1年度 目標値	R1年度 中間値
アシスタントマネージャー養成講習会(体育センター)受講者数	日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー資格取得のための専門科目として、クラブの創設及び運営に必要な事項に関する講習会を実施し、運営の中心となる専門的な人材の育成	10人	7人 (H30実績)
生涯スポーツ研修講座(体育センター)受講者数	地域のスポーツ指導者の資質向上を図るための指導法等の研修講座	400人	383人 (H30実績)
スポーツ事故等に関する講習会(体育センター)受講者数	スポーツによるけがや故障の予防、またスポーツ活動における危機管理について、実技などを通してスポーツ指導者向けに行う研修会	100名	88名 (H30実績)
信州チャレンジスポーツDAY参加者数	県内各競技団体やプロスポーツチーム、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブの協力を得て、家族や仲間と楽しく参加でき、スポーツに親しみ、スポーツを継続して行うきっかけとなる体験及び教室を開催	【県大会】4,600人 【地域版】6,000人	4,213人(H30実績) 6,163人(H30実績)
総合型地域スポーツクラブと障がい者福祉施設が連携した障がい者スポーツの拠点づくり	地域においても、障がいの有無に関わらず幼少期からの発達過程に応じて体力増進や運動・スポーツの楽しさを知ることのできる機会提供のモデル事業に取り組み、参考となる事例の横展開を進める	2拠点	2拠点 (R1.11)

### 3 令和2年度の業績評価指標(KPI)の設定(案)

指標名	説明	基準値 (H29年度)	R1年度 中間値	R2年度目標値
アシスタントマネージャー養成講習会(体育センター)受講者数	日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー資格取得のための専門科目として、クラブの創設及び運営に必要な事項に関する講習会を実施し、運営の中心となる専門的な人材の育成	2人	7人 (H30実績)	10人
生涯スポーツ研修講座(体育センター)受講者数	地域のスポーツ指導者の資質向上を図るための指導法等の研修講座	369人	383人 (H30実績)	400人
スポーツ事故等に関する講習会(体育センター)受講者数	スポーツによるけがや故障の予防、またスポーツ活動における危機管理について、実技などを通してスポーツ指導者向けに行う研修会	71人	88人 (H30実績)	100名
信州チャレンジスポーツDAY参加者数	県内各競技団体やプロスポーツチーム、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブの協力を得て、家族や仲間と楽しく参加でき、スポーツに親しみ、スポーツを継続して行うきっかけとなる体験及び教室を開催	【県大会】3,979人 【地域版】5,338人	4,213人 (H30実績) 6,163人 (H30実績)	【県大会】4,600人 【地域版】6,500人
法人格を取得した総合型地域スポーツクラブの数	総合型知育スポーツクラブが、住民や行政から信頼され、より多くの会員の確保と、行政から委託事業等の増加、企業連携などをめざす	-	21クラブ	25クラブ
総合型地域スポーツクラブと障がい者福祉施設が連携した障がい者スポーツの拠点づくり	地域においても、障がいの有無に関わらず幼少期からの発達過程に応じて体力増進や運動・スポーツの楽しさを知ることのできる機会提供のモデル事業に取り組み、参考となる事例の横展開を進める	-	2拠点 (R1.11)	2拠点

## 基本目標 3 全国や世界で活躍する選手の育成

### 1 達成目標 (KGI)

指標名	単位	基準値 (H29年度)	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		目標値 (R4年度)
			目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	
国民体育大会	男女総合 (天皇杯)順位	位	18	15	13	13	16	13		12	10位以内
	冬季大会順位	位	1	1	1	1	2	1		1	1位
	本大会順位	位	45	38	32	30	35	25		21	20位台
国民体育大会(少年)・全国 高等学校総合体育大会・全 国中学校体育大会の入賞 数	-	218 人・団体	220	256 人・団体	227			234		242	250 人・団体
北京冬季オリンピック(2022 年)でSWANからメダリスト輩 出	-	-									1人以上
ブロック予選を突破して全 国障害者スポーツ大会に 出場する団体競技数(障が い種別、男女別)	-	0		0	1	0	2		3		4競技

### 2 令和元年度業績評価 (KPI)

指標名	説明	R1年度 目標値	R1年度 中間値
北信越国体における本大 会への出場権獲得数	国民体育大会本大会出場を向け、各競技種別のブロック予選会として北信越国体が開催されている。ここでの出場権獲得が、本大会での高得点、高順位へとつながっていく関係にある	45	39
SWANプロジェクト育成数	国のスポーツ基本計画及び長野県スポーツ推進計画に沿った競技力向上の視点に立ち、1998年開催の長野冬季オリンピックの遺産である人的・物的・環境資源を最大限に活用しながら、子どもたちに世界で活躍する競技者となる「夢とチャンス」を与えることを目的としたプロジェクト	70人	66人 (H30実績)
オリンピック育成支援対象 者数	本県出身の選手がオリンピック等の国際舞台で活躍できるよう、競技団体が実施する有望選手や次世代トップアスリートの海外遠征等の育成・強化事業に対し支援(冬季競技)	5団体	3団体
長野県競技力向上対策本 部 NAGANOスポーツ☆キラキラ 子育成プロジェクト育成数	県内の小学校4～6年生を対象に、優れたスポーツの素質を有する子どもたちを発掘し、将来オリンピック等の国際大会や国体等の国内トップレベルの競技大会で活躍できるアスリートを育成	80人	66人
長野県アスリート就職支援 事業による県内就職アス リート数	アスリートが県内企業へ就職し競技を継続するため、アスリートと企業をマッチングする事業。アスリートが安心して競技に取り組む、地域で活躍できる環境を整え、さらに引退後も引き続き指導者として地域に残り、技術や経験を地域に還元する好循環を創出していくことを目指している	3人	2人
大学との連携による障が い者スポーツ指導員の養成	大学との連携により学生を対象とする障がい者スポーツ指導員の養成を図り、障がい者スポーツを支える人材を地域に輩出する取組を進める	20人	13人 (R1.11)

### 3 令和2年度業績評価指標 (KPI) の設定(案)

指標名	説明	基準値 (H29年度)	R1年度 中間値	R2年度目標値
北信越国体における本大 会への出場権獲得数	国民体育大会本大会出場を向け、各競技種別のブロック予選会として北信越国体が開催されている。ここでの出場権獲得が、本大会での高得点、高順位へとつながっていく関係にある	40	39	45
改 SWANプロジェクトメン バーの全国中学校大会入賞 数(延べ数)	国のスポーツ基本計画及び長野県スポーツ推進計画に沿った競技力向上の視点に立ち、1998年開催の長野冬季オリンピックの遺産である人的・物的・環境資源を最大限に活用しながら、子どもたちに世界で活躍する競技者となる「夢とチャンス」を与えることを目的としたプロジェクト	8	12	15

改	オリンピック育成支援対象者の世界大会出場人数	本県出身の選手がオリンピック等の国際舞台で活躍できるよう、競技団体が実施する有望選手や次世代トップアスリートの海外遠征等の育成・強化事業に対し支援(冬季競技・夏季競技)	-	-	5人
改	長野県競技力向上対策本部 NAGANOスポーツ☆キラキラっ 子育成プロジェクト競技体験	県内の小学校4～6年生を対象に、優れたスポーツの素質を有する子どもたちを発掘し、将来オリンピック等の国際大会や国体等の国内トップレベルの競技大会で活躍できるアスリートを育成	-	3種目	10種目
	長野県アスリート就職支援事業による県内就職アスリート数	アスリートが県内企業へ就職し競技を継続するため、アスリートと企業をマッチングする事業。アスリートが安心して競技に取組み、地域で活躍できる環境を整え、さらに引退後も引き続き指導者として地域に残り、技術や経験を地域に還元する好循環を創出していくことを目指している	2人	2人	3人
	大学との連携による障がい者スポーツ指導員の養成	大学との連携により学生を対象とする障がい者スポーツ指導員の養成を図り、障がい者スポーツを支える人材を地域に輩出する取組を進める	-	13人 (R1.11)	20人